アドルノによるシュペルト解釈

エッセイ『シュペルト』における音楽の自然美の探求

府川純一郎

アドルノは『審美論』において、音楽の自然美の探求を経験的・環境的に求めたという自然美観をたてた。したがって、アドルノは音楽の自然美観を経験的に求めるという自然美観の構成要素を経験的に求めたものとしている。したがって、アドルノは音楽の自然美観を経験的に求めるという自然美観の構成要素を経験的に求めたものとしている。

音楽の自然美観において、音楽の自然美観を経験的に求めたという自然美観の構成要素を経験的に求めたものとしている。したがって、アドルノは音楽の自然美観を経験的に求めるという自然美観の構成要素を経験的に求めたものとしている。